

明るく伸びやかな環境で安心して学ぶ 二丈中の宝



文



「子どもたちが素直で無邪気」「穏やかですね」「廊下に(先生の)どなり声が響くことはほとんどないかな」。教師から保護者まで、異口同音に温かなイメージが語られる糸島市立二丈中学校。平成14年に建てられた校舎は、明るく広々としており、全校縦割りのグループで行う黙働自問清掃(もくどうじもんせいそう)で隅々まで磨き上げられています。

深江小学校と一貴山小学校から集まる子どもたちは全校で200名程度。子ども同士はもちろんのこと、学年を問わず生徒と先生も全員顔見知りです。学期ごとにある教育相談は担任以外の先生にも相談でき、多様な意見が聞けます。子どもたちは小規模校ならではのきめの細かい対応を受けながら、多感な時期を過ごします。

春、3年生が中庭で踊りの練習を始めたら体育祭の季節到来。沖縄の平和学習と共に取り組むエイサー演舞は、体育祭の目玉で

す。5月の本番に向けて3年生を中心に練習を重ねます。

創立70周年を記念して始まったのは、文化祭の全校合唱です。心を一つに合わせた圧巻のハーモニーが体育館に響き渡ります。文化祭を締めくくると吹奏楽部演奏では、子どもたちが音楽に合わせて踊り出す茶目っ気もあり、何事も真剣に取り組み、そして楽しんでいる姿が見られます。

「何でも相談しあえる」というPTA活動。なかでも、「二丈中おやじの会」は夏休みにナイトハイクを企画するなど活発に活動しています。男親目線ならではの真夜中の遠足を、親父の力を結集して開催します。月に1,2度の会合を重ね、「子どもに関わる最後の機会」と親父たちも十二分に楽しめます。



明るく広々とした教室でグループ学習に取り組む



日頃の感謝の気持ちを込め『ふるさと』を全校合唱

